



2009年5月 石原社長 定例記者会見概要

5月27日午後3時より、石原社長による定例記者会見が放送センター20階、役員大会議室で開かれました。概要は以下のとおりです。

<編成関連>

今年度上期の視聴率は、第8週を終えた段階で、全日帯、ゴールデン帯、プライム帯ともに5位と厳しい状況だ。この春はかつてない規模の改編に踏み切ったが、大きく変わったタイムテーブルが視聴者にまだ十分に浸透していないのが低迷の要因だと考えている。特にベルト番組は視聴習慣の定着に時間がかかると思う、今はまさに「産みの苦しみ」の段階だと認識している。4月改編の目玉である『総力報道！THE NEWS』は、系列各局では二桁出しているところもあり、全体的に見れば徐々に定着しつつあると手ごたえを感じている。これからも、より分かりやすいニュース番組ということで粘り強く取り組んでいきたい。

土曜20時枠では、先週23日から木村拓哉さん主演のドラマ『Mr. BRAIN』が始まり、初回は24.8%と大変いいスタートを切ることができた。これに合わせ、前日に木村拓哉さんが出演した『ぴったんこカンカン』も16.0%を記録するなど、『Mr. BRAIN』が全体を盛り上げる形になっている。今期の目玉ドラマなので、しっかりと力を入れていきたい。7月期も4本の連続ドラマがスタートするが、注目は、城山三郎さん原作のドラマ化で、佐藤浩市さん主演の日曜21時の『日曜劇場 官僚たちの夏』だ。TBSらしい重厚な大型ドラマとして期待している。

8月には、ベルリンで開催される世界陸上の独占放送がある。これまで培ったノウハウを生かして成功させていきたい。またゴルフでも8月には、4大メジャーのひとつ「全米プロ選手権」を地上波で3年ぶりに放送することになった。今年は、17歳の石川遼選手が全米プロ史上最年少で出場、マスターズに続いて活躍が期待される。

石川(眞)常務:『ひるおび』は苦戦しているが、40年以上「愛の劇場」を放送していた時間帯なので視聴者に番組を認知してもらうまで少し時間がかかると思っている。4時間の生放送という特性を生かしながら、前半、後半とメリハリをつけて、どこで何をやっているか、大枠のイメージを作って視聴者にアピールしたい。20時以降のバラエティについては、金曜日が『ぴったんこカンカン』『金スマ』『金曜ドラマ』と、女性視聴者層を中心にした良い流れが出来ている。しかし、残念ながら他曜日は、新しいタイムテーブルがまだ十分浸透していないので、内容のリニューアルをするなど番組の強化をはかっている。

<決算総括>

2008年度決算は、収入については、株式会社スタイリングライフ・ホールディングスを7月から連結子会社化したことと、TBS単体の事業部門と不動産部門が好調だったことなどにより、連結・単体ともに、増収となった。一方、テレビ広告収入の落ち込みが激しく、

利益面では、連結単体ともに、営業利益、経常利益、当期純利益とも減益となった。特に、投資有価証券評価損と繰延税金資産の取崩しをおこなった影響で、当期純利益は大幅な減益となり、繰延税金資産の取崩しが大きかった TBS 単体は、開局以来初めて最終赤字となった。大変厳しい決算であった。

<営業概況>

4 月はタイム、スポットともに前年度実績を大幅に下回る大変厳しいスタートとなった。TBSとしては第2の開局とも言える、大改編を行ったが、タイムセールスはかつてないほどの厳しい市況の中、売上は大幅減となった。スポットも依然として厳しい状況が続いているが、今年が底との見方もあるので、夏以降には景気が回復してくることを期待している。今後はレギュラー番組の視聴率の底上げを図りながら、8 月の「世界陸上」をはじめとするタイムの単発セールスを積極的に展開していきたい。

<赤坂サカス>

7/18 から 8/31 まで“水”をテーマにした「夏 Sacas'09 ～Sacas Water Park～」(サカスウォーターパーク)を開催する。去年は「都会のオアシス」をテーマにしたが、今年はさらに“夏”という季節感を大きく打ち出している。今回の目玉となるギャラリーのアクアリウム(水族館)では「シーラカンスと東京湾の謎」をテーマに世界的に希少な冷凍体を含む 3 体のシーラカンスを同時展示するほか、東京湾を再現した水槽では、東京湾に住む生物との触れ合いも体験していただく。また、サカス広場では、様々な水のアトラクションと共に、TBSの番組と連動したイベントや人気番組のブースを楽しんでいただく。45 日間で 150 万人の動員を目標にしている。

<事業関連>

映画「ROOKIES—卒業」は 5 月 30 日公開予定だ。前売り券の売上げが 5 月 25 日現在で 36 万枚を突破、昨夏公開した「花より男子ファイナル」(興収 77.5 億円)を上回っており、大いに期待している。また映画における商品開発では、これまでで最大の展開を予定している。4 月 11 日公開の「クローズ ZERO II」は、動員 219 万 3,863 人、興収 28 億 8,056 万円(5 月 24 日時点)と、前作を越える大ヒットとなっている。5 月 9 日公開の「余命 1 ヶ月の花嫁」は動員 130 万 3,309 人、興収 17 億 0,650 万円(5 月 24 日時点)、「涙そうそう」(2006 年 9 月公開、31 億円)との興行対比でも 99.3%としており、興収 30 億円を超えるのではと期待している。

<TBS R&C> 余田社長

4 月 13 日(月)～26 日(日)に行なわれた聴取率調査で、TBSラジオは、1.3%で聴取率単独首位となり、2001 年 8 月からの連続聴取率トップを 47 期(7 年 10 ヶ月間)に伸ばした。番組別では、「久米宏ラジオ なんですけど」が 0.2 ポイントアップして、番組史上最高の 2.2%獲得。全局のワイド番組ランキングで、初の首位を奪った。

第 46 回ギャラクシー賞の DJ・パーソナリティ賞を、「ライムスター宇多丸のウィークエンドシャッフル」のパーソナリティの、宇多丸さんが受賞した。TBSラジオとしては、宇多丸さんの本来のラッパーとしての活躍はもとより、音楽や映画などに対する知識や、トークパフォーマンスに早くから注目し起用してきただけに、このような形で彼のラジオパーソナリティとしての能力が評価されたのは、非常に嬉しい。

昨日 26 日より、「e+(イープラス)」と共同で、TBS ラジオが主催・後援するコンサートやイベントなどのチケットを携帯電話を通じて購入できる会員サービス「TBS ラジオモバイルチケット」をスタートした。会員限定の特別先行発売の第 1 弾として、7 月 20 日横浜 BLITZ で開催される「エレ片フェス 2009」の先行発売を、明日 28 日より実施する。以上